成績評価基準

１．授業方法について

授業は、講義・演習・実習若しくは実技のいずれかにより、又はこれらの併用で行うものとする。

２．単位について

授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義及び演習にあっては、15 時間から 30 時間をもって 1 単位とする。

(2) 実習、実技にあっては 30 時間から 45 時間をもって 1 単位とする。

(3) 一の授業科目について、講義若しくは演習又は実習若しくは実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、(1)及び(2)の基準を考慮して本校が定める時間の授業をもって 1 単位とする。

３．試験等

(1) 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。

(2) 学業成績は、上記（1）のほか、出席状況等の学習姿勢も考慮して評価する。

４．学業成績の判定

学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の５種をもってこれを表し、秀は 90 点以上優は 80 点以上、良は 60 点以上、可は 50 点以上、不可は 49 点以下とし、秀、優、良、可を合格、不可は不合格とする。

学業成績の判定及び評価、成績証明書の表記は、下記の表のとおり。

判定	評価点	成績評価	成績証明書表記
合格	100 点～90 点	秀	秀
	89 点～80 点	優	優
	79 点～60 点	良	良
	59 点～50 点	可	可
不合格	49 点以下	不可	非表示

５．単位の授与

授業科目を履修し、各科目の成績を判定のうえ、秀、優、良、可を取得した者には所定の単位を与える。

客観的な指標（GPA）の算出方法

１．指標

成績評価における客観的な指標として、ＧＰＡ（Grade Point Average）を用いる。

２．成績評価とＧＰ

授業科目の成績は、下記の５種で表すと共に、それぞれの評価に対して、下記のとおりＧＰ（Grade-Point）を与える。

成績評価	GP	評価点	備考
秀	5	100 点～90 点	
優	4	89 点～80 点	
良	3	79 点～60 点	
可	2	59 点～50 点	
不可	0	49 点以下	
認定	－	－	対象外

３．ＧＰＡ算出方法

$$GPA = \frac{\text{（科目の単位数×当該科目で付与された GP）の合計}}{\text{履修科目の単位数の合計}}$$

※小数点以下第 3 位四捨五入

【算出例】

科　　目	単位	評価	ＧＰ	単位数×GP
A（履修）	1	可	2	2
B（履修）	1	不可	0	0
C（履修）	2	優	4	8
D（履修）	1	秀	5	5
E（履修）	4	可	2	8
F（履修）	1	良	3	3
G（履修）	2	良	3	6
H（認定）	1	認定	－	－
履修科目合計	１２		２０	３２

$$GPA = \frac{３２ポイント}{１２単位} = ２．６７（※小数点以下第 3 位四捨五入）$$